



2019年12月21日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
 代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
 (コード番号: 6264 東証第一部)
 問合せ先 管理本部長 下舞 毅
 (TEL. 0996-68-1140)

2019年11月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2019年11月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	459	59.2%	4.8%	△14.1%
F P D分野	312	40.3%	△3.1%	78.7%
その他分野	4	0.6%	11.1%	△83.5%
合計	776	100.0%	1.5%	5.4%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	2018/12	2019/1	2019/2	2019/3	2019/4	2019/5
半導体分野	540	521	458	490	555	548
F P D分野	164	174	157	169	185	191
その他分野	4	4	4	3	4	6
合計	709	701	620	663	745	747

区分	2019/6	2019/7	2019/8	2019/9	2019/10	2019/11
半導体分野	536	460	391	429	438	459
F P D分野	206	246	340	337	322	312
その他分野	4	4	4	5	3	4
合計	748	711	737	772	764	776

3. 月次受注残高の概況

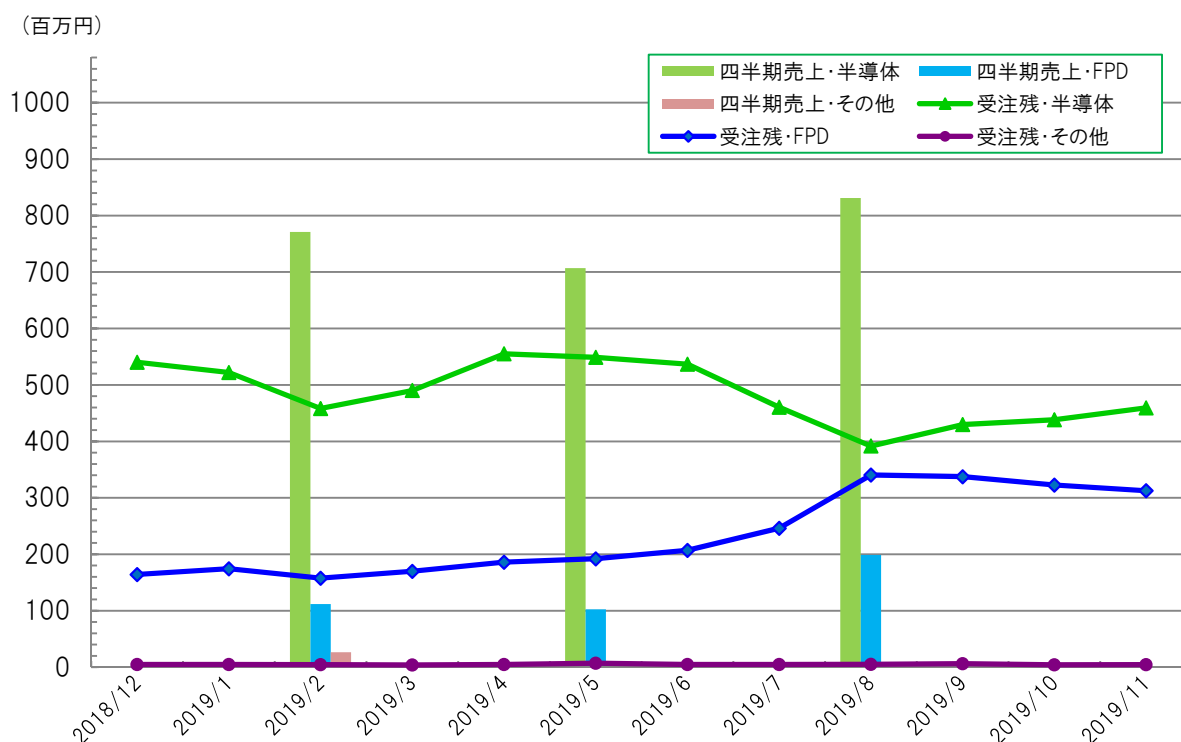
2019年11月末の受注残高は、半導体分野においては、受注と検収共に横ばいで推移し、対前月増減率は4.8%増、対前年同月増減率では14.1%減の459百万円となりました。FPD分野においては、受注が好調に推移するなか出荷検収も順調であったことから、対前月増減率は3.1%減、対前年同月増減率では78.7%増の312百万円となりました。その他分野においては、大きな変化はありませんでした。これらの結果、2019年11月末の受注残高は、対前月増減率1.5%増、対前年同月増減率5.4%増の776百万円となりました。

現在の市場環境として、半導体分野では、ロジック向けの需要が堅調な推移をするなかで、メモリ向けの需要が開始しました。しかし、当社の受注する一部消耗品について、リサイクルが始まり当社受注に影響が出ております。FPD分野では、足元は中国においてOLED（有機EL）投資やG10.5液晶パネル投資が進んでいますが、一部のパネルメーカーが増産投資を停止する発表を行うなど不安定感が出ております。

今後の見通しといたしましては、半導体分野では、ロジック向けに加え、メモリ向けの需要が拡大する見通しです。なお、一部消耗品のリサイクルにつきましては、当初想定よりも影響が長引く見込みです。結果、市場好調による新規装置向けの増加を消耗品の停滞が打ち消し、しばらくは緩やかな増加にとどまると想定しております。FPD分野では、今期末までの生産については概ね高水準が続く見通しであり、それ以降も投資案件数は減りながらも、電子ビーム溶接機を活用した受注が順調に推移すると見込んでおります。その他分野につきましては、引き続き、当社の各種生産能力を活用した受注活動を行ってまいります。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。